

# 議会だより



「町民との交流スペースの設置は」



「凍結防止剤の環境負荷は」



新庄南高校金山校模擬議会の様子(12/22)

増えるクマへの対応は ..... 4

町政を問う(5議員) ..... 6

5地域で意見を聞く ..... 10

※表紙の説明は12ページ ※詳しくは広報2月号をご覧ください。

悠久の四季めぐる金山町



金山町議会の最新情報はこちら▶

山形県金山町議会 検索

編集 © 議会広報常任委員会



# 冬の燃料費 引き続き支援

10月議会臨時会 町長提出議案

議案番号	議案名及び議案の主な内容
議第86号	令和7年度金山町一般会計補正予算(第6号) 補正予算額 340万円 補正後予算額 54億300万3千円 ・福祉燃料購入支援事業費補助金 75万7千円 ・農作物渇水対策事業費補助金 150万円 ・金山小学校プール等災害復旧工事 78万8千円 など
議第87号	普通河川鍋倉川支川河川災害復旧工事変更請負契約の締結について ・工事に伴う土砂処理方法の変更により537万3,500円を減額し、変更契約を締結するもの

**健康福祉課長** 現在の福祉燃料購入支援事業の対象は、70歳以上のひとり暮らし世帯、65歳以上の高齢者夫婦2人暮らし世帯、高齢者のみ世帯、65歳以上高齢者世帯の中で1人でも70歳以上

**中村議員** 現状の対象世帯の状況と、今後の対象世帯の考え方は。

除雪対策費について、豪雪対策本部が設置された場合は、拡充して対応して参りたい。

**健康福祉課長** ここ数年、物価高、豪雪を見込み、特例で2500円を上乗せしてきた。詳細は不明であるが、物価高騰がある程度落ち着いてきたこと、暫定税率の部分も見直される動きがあるということを見込んでいると想像している。

**中村忠行議員** 福祉燃料購入支援事業費補助金の財源である県支出金はなぜ減額になったのか。また、町豪雪対策本部が設置された場合、例年ごおり増額対応するのか。

〔議第86号 令和7年度 金山町一般会計補正予算(第6号)〕

## 議案への質疑応答要旨

新年明けましておめでとうございませう。町民の皆様には、健やかに令和八年の新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

金山町は、町制施行百周年という大きな節目を越え、次の時代に向けた新たな歩みを進めております。

これまで一度も合併することなく、先人の皆様が守り育ててこられた歴史と伝統、そして人と人とのつながりは、今もなお金山町の大きな財産であります。昨年を振り返りますと、自然災害への備えや復旧、物価高騰への対応など、町民生活に直結する課題が引き続き顕在化した一年でありました。

その一方で、ふるさと納税の拡充や地域資源を生かした産業振興、公共施設の取得・活用など、将来を見据えた取り組みも着実に進められてまいりました。令和八年は丙午(ひのえうま)の年にあたります。

変化を前向きに捉え、金山町らしい持続可能なまちづくりを進めていくことが重要であると考えております。

金山町議会といたしましても、町民の声に真摯に耳を傾け、行政との緊張ある議論を通じて、より良い町政の実現に向け全力で取り組んでまいります。

結びに、町民の皆様のご健勝とご多幸、そして令和八年が金山町にとって実り多き一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

令和八年一月吉日  
金山町議会議長 栗 田 保 則  
金山町議会議員一同



新年のごあいさつ

## 「次の時代へ確かな歩みを」

がいる世帯、身体障害者手帳1級、2級、精神障害者福祉手帳1級、療育手帳A所持世帯、未成年者がいるひとり親世帯、要介護が4又は5、若しくは同程度の状態の方がいる世帯など多岐にわたっている。今後、世帯を拡充していくかどうかは、状況に応じて、判断させていただきたい。

〔議第87号 普通河川鍋倉川支川河川災害復旧工事変更請負契約の締結について〕

**中村忠行議員** 稲刈りなど農繁期の中で、土砂を運搬する際は、農家の方の都合も考え工事に当たってもらいたい。

**環境整備課長** 工期が10月31日となっており、農繁期中の土砂運搬は十分注意して行なう。

**中村議員** 既に運んでいるのか。

**環境整備課長** 土砂の運搬は議決前であり、一切していない。



鍋倉川支川災害復旧工事

**須藤典夫議員** 蒲沢地内の堆積した土砂に関しては県が管理するのか。また、堆積した土砂が下手の民家に流出することはないのか。

**産業課長** 今後堆積した土砂は、町で管理する。堆積場所の指定をしており、万が一の災害などで土砂流出はないものと想定している。堆積場所の所有者から、無償で土地をお貸ししていただけることこの了解を得て、事業を進めている。



後列 左から 宮林聡志議員 星川智子議員 中村忠行議員 大場洋介議員 五十嵐優一議員  
前列 左から 寒河江宏一議員 沼澤道也議員 栗田保則議員 矢口政一議員 須藤典夫議員

# クマ・イノシシ出没過去最多

## ～ 町民の安全を守る猟友会の活躍 ～

12月定例会が2日から5日まで開催され、補正予算等12件の議案を全員賛成で可決した。クマなど野生動物が各地で多数出没する中、これまで金山では人的被害はないが、引き続き猟友会に出勤を要請し対策を取っていく。

### 12月議会定例会 町長提出議案

議案番号	議案名及び議案の主な内容
議第88号	金山町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 国の人事院勧告や県内及び管内の状況を踏まえ、期末手当を0.05月増額するもの
議第89号	金山町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 国の人事院勧告や山形県人事委員会勧告、県内及び管内の状況を踏まえ、給料表及び手当を改定するもの
議第90号	令和7年度金山町一般会計補正予算(第7号) 補正予算額 4,219万7千円 補正後予算額 54億4,520万円 鳥獣被害対策実施隊員報酬 600万円、小規模農地等災害緊急復旧事業費補助金 95万円 など
議第91号	令和7年度金山町国民健康保険特別会計(第3号) 補正予算額 728万9千円 補正後予算額 2億3,762万9千円 X線CT装置及び多項目自動血球計数装置修繕料 122万円、検査委託料 160万8千円 など
議第92号	令和7年度金山町介護保険特別会計補正予算(第3号) 補正予算額 465万3千円 補正後予算額 8億1,573万5千円 介護保険給付基金 350万1千円、居宅介護福祉用具購入費 30万円 など
議第93号	令和7年度金山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 補正予算額 290万7千円 補正後予算額 8,369万4千円 システム改修委託料 190万6千円、後期高齢者医療広域連合納付金 63万9千円 など
議第94号	令和7年度金山町水道事業会計補正予算(第2号) (収益的収支)補正予算額 105万6千円 補正後予算額 2億1,121万7千円 消火栓受託工事費 33万円、職員及び会計年度任用職員人件費 72万6千円 など
議第95号	令和7年度金山町下水道事業会計補正予算(第3号) (収益的収支)補正予算額 206万3千円 補正後予算額 2億1,765万9千円 (資本的収支)補正予算額 8万円 補正後予算額 1億6,158万円 浄化センター動力電気料 34万7千円、利率変更による企業債利息 135万7千円 など
議第96号	金山町財政運営基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について 町有林(共有地)の持ち分割合増加による山林面積の増加に伴うもの
議第97号	金山町固定資産評価審査委員会委員の選任について 任期満了に伴い、引き続き川崎栄治氏(羽場)を選任するもの
議第98号	最上圏域下水道共同管理協議会規約の一部を改正する規約の制定について 協議会事務の管理及び執行に要する経費に係る関係市町村の負担割合を変更するもの
議第99号	最上広域市町村圏事務組合規約の規約の一部を改正する規約の制定について 新消防庁舎への移転に伴う事務所の位置の変更、共同処理する事務の整理に伴うもの
議第100号	令和7年度金山町一般会計補正予算(第8号) 補正予算額 120万円 補正後予算額 54億4,640万円 不要果樹伐採支援事業 120万円

#### 議案への質疑応答要旨

〔議第90号 令和7年度金山町一般会計補正予算(第7号)〕

**五十嵐優一議員** 有害鳥獣対策に係る実施隊の体制、県関連の補助などについて伺う。

**産業課長** 18名の猟友会全員が実施隊として活動しており、町では産業課水野補佐を中心にそれぞれ所管の職員が対応している。現在までの出勤延べ人数は621人。令和7年度はすべて町単独の予算で実施しているが、来年度以降は県が提案するクマパッケージ等や国の事業を取り入れ対応したい。

**矢口政一議員** 金山でもイノシシが集団で生息し、農地や作物に被害が出ることを心配している。現在39頭駆除し目標を100頭としているが状況は。

**産業課長** 生息数はまだ把握していないが、群れを毎口見かけることもある。猟友会で民をしかけるなど対応しているが追いつかない状況である。

**寒河江宏一議員** 駆除したクマやイノシシをどう処分しているのか、今後はどのように考えているのか。

**産業課長** 解体して肉を取った後の内臓や骨などの残渣は隣の空き地に埋めている。猟友会からは更に埋設場所の確保を要望されている。今回の補正では、解体施設の充実を図るための予算285万円をお願いしている。

**須藤典夫議員** クマ、イノシシの解体後の処理に関して、今後新たに埋設場所を設定する際、行政の指導の下でルールに沿って適正に管理することが必要では。また、イノシシ被害で破壊されたほ場を復旧するための支援は。

**産業課長** 最上管内の自治体では、概ね埋設処理しているようだが調べて対応したい。イノシシによるのり面水路崩壊についても今後の対応を検討したい。

**中村忠行議員** クマ対策としての藪の刈り払いや住宅と山林の境界整備等、県や国で対象外の活動の支援はできないか。また町のガバメントハンターへの対応について伺う。

**産業課長** 町でも環境整備は重要と考え、緑環境税を使った事業と組み合わせる。来年度の当初予算で事業化できるようにしたい。

**総務課長** 猟友会に産業課の職員が一人籍しているが、有害鳥獣担当ではない。現場に産業課の担当の仕事として行けば公務だが、猟友会として行く場合は別扱いになる。

**星川智子議員** 昨年のみらい留学学生寮の工事請け差が600万円以上あったが、今回の状況は。また、令和9年度の受け入れ対応は。

**教学課長** 今回4棟目の請け差は350万円。落札業者の努力と考える。令和8年度5名の学生を受け入れてもまだ3部屋の空きがあり、9年度留学生には対応できると想定している。



# 町政を質す

ただ



大場 洋介 議員

①今後の食料・農業・農村基本法に関する方向性について

須藤 典夫 議員

①義務教育学校の考えは  
②「道の駅」の建設は

中村 忠行 議員

①教育長の教育に対する所信は

矢口 政一 議員

①事業提案の町の評価は

五十嵐 優一 議員

①生活排水処理基本計画への対応は

②農業集落排水施設と公共下水道の統合は

一般質問とは

年4回の定例会で行う。議員が町の行政全般について、事業執行の状況や将来の方針等について所信を質し、あるいは報告や説明を求めるなどの政策論議の場である。町議会では、質問要旨を事前に通告することとし、限られた時間内で、大所高所からの建設的で簡明な質問が求められている。



おおば ようすけ 大場 洋介 議員

問 答

収益力を高め、基盤整備促進を大規模経営体と新規就農者の育成を急ぐ

今後の食料・農業・農村基本法に関する方向性について

大場議員 温室効果ガス排出削減や生物多様性の保全等の環境負荷低減の進め方は。

町長 農業生産段階での化学肥料・化学農薬の使用削減や省エネルギー機械の導入支援を取り組み、環境と調和した農業経営の実現を図る。

大場議員 生産者の生産意欲を増すビジョンの作成が重要。中山間地域の基盤整備や将来性ある展開は。

産業課長 地域の合意形成の一致で基盤整備が進む。大規模経営体の育成や国の親元就農・県の世代交代への補助を活用した新規就農者への支援を検討している。

大場議員 地域計画と連携したオーガニック・ビレッジの展開への可能性及び有機農業拡大に向けた取り組みは。

産業課長 有機JAS認証制度による有機農産物を出荷している農家は少ない。技術支援や販路確保に向けた関係機関と連携し学校給食への地場産有機農産物の活用を段階的に図る。

大場議員 温暖化・自然災害・鳥獣や病害虫などでの生産性向上と経営リスク対策は。

産業課長 水稲・園芸品目の耐候性・病害虫抵抗性の高い品種の導入促進を図る。農業共済制度の加入促進、国・県・金山農協等の関係機関や農業者の皆様とより連携を強化する。



すとう のりお 須藤 典夫 議員

問

義務教育学校(9年制学校)導入は

答

8年度、検討委員会を設置

義務教育学校の考えは

須藤議員 「義務教育学校」の導入での子供たちへのメリットは。また、仮称「金山学園」開園までのスケジュールは。

教育長 義務教育学校の意義は、修業年限の9年間で1年生から9年生まで同じ学校の中で生活することから、心身の発達を考慮した連続性・系統性が確保され、9年間の継続的な編成・実施により、「中一ギャップ」の解消や学習のつまずきの解消が期待される。さらに学力の向上も期待される。現時点では、総合教育会議の承認を得て、令和8年度内に検討委員会を設立、答申を得ることを想定している。新たに義務教育学校を設立した場合は、県内外の学校の進捗状況等を考え、計画開始の時期から開園まで、最短でもおおよそ5、6年は必要である。



※中1ギャップ…小学校から中学校への進学後、環境の変化(教科担任制、学習量の増加、人間関係の変化など)に適応できず、不登校やいじめ、学習意欲の低下などを引き起こす現象のこと。

「道の駅」の建設は

須藤議員 議会では活性化策調査報告で、高規格道路開通に合わせた「道の駅」建設が望まれますと報告しているが町長の考えは。

町長 道の駅設置を前提とは言い切れないが、検討するということ組織をまず立ち上げていこう。



なかむら ただゆき 中村 忠行 議員

問

地元で希望を持てる施策展開を

答

町民がリーダーとなる活動を支援

教育長の所信は

中村議員 デジタル化の進展、少子高齢化、家庭や地域の変化など子供を取り巻く環境は大きく変化している。今後を見据えた教育の方向性をどのように策定していくのか。

教育長 教育全般を推進していくために金山町教育大綱を策定している。教育の基本目標を「故郷を愛し、自ら学び、自ら育み、未来を切り開く金山人の育成」と掲げている。

町に誇りを持てる人づくりを目指すとともに、起業家精神を養う教育に力を注ぎ、継続して町に住み活躍できる人材を目標にしたいと考えている。

中村議員 若者が地元で希望を持てるような支援策は。



すずき ひでし 鈴木 英樹 教育長

教育長 「二十歳を祝う会」の実施や奨学金の返済免除の拡充、文化やスポーツイベントの実施、出会いの創出として「山形ハッピーサポートセンター登録支援事業」、その他「移住定住促進事業」「結婚新生活支援事業補助金」などがある。また、雇用につながる補助や健康福祉課の子育て支援策などの充実など、職や生活を支える各種支援を実施しており、今後もそれらについて探求していきたい。



やぐち まさいち 矢口 政一 議員

事業提案の町の評価は

矢口議員 定住促進・空き家活用住宅改修事業の取り組みは。

町長 空き家対策は必要な施策で、「空き家対策協議会」で協議し、担当課で来年度上半期までに内容を精査、予算要求を判断し、合意形成が整えば「景観審議会」に説明、令和9年度予算に結び付ける。

矢口議員 「かねやま移住ガイドブック」の作成は。

町長 移住に関する施策をまとめた冊子はなく、新年度予算で措置する。

矢口議員 出産祝金の拡充は。

町長 一過性の施策にならないように事業の継続性を考慮し協議を行う。

問

将来を見据えた施策展開は

答

「職員プロジェクト」の提案を精査

矢口議員 廃校の活用事業は。

町長 金山小学校が廃校の場合は、町の文化や歴史を知る、歴史館的なものの必要性は感じている。課題として担当課で検討していく。

矢口議員 かねやまワーキングホリデーは。

町長 「おてつたび」の支援と共に、関係人口拡大を含めた、予算措置の判断をする。

矢口議員 民間運営による、アパート建設は。

町長 依然として、アパート建設の要望も多く、国庫補助を受け、旧金山製材所跡地を活用し、景観に配慮した木造2階、4世帯の建設は、町の住宅事情や補助金の内容、景観施策など課題も多いが、解決に向けて継続して検討する。

部活動の地域移行に向け調整

総務文教常任委員会

問 部活動の地域移行は進んでいるのか。

答 来年度から休日の部活動が完全に地域移行となるため、現在保護者や指導者と詳細に調整を進めている。



問 山交バス運行維持対策補助金の増額は、今後増加傾向にあるのか。

答 今年度の乗車数が、想定より減少したため差額を補正した。今

後の運行については、12月10日の公共交通会議で協議をする。

問 公共施設の敷地内禁煙の経緯は。

答 近隣自治体の状況を調査した結果、職務中の喫煙を容認しているのは当町だけであった。令和8年1月1日から「職員の勤務時間中の禁煙」の方針とした。また、公共施設の敷地内禁煙、公用車、除雪車等も禁煙となる。

問 NHK受信料申告漏れの詳細は。

答 カーナビ等のテレビ受信機能が、ある公用車20台分の受信料で、平成22年まで遡って支払う事になる。公共機関の車両は1台ごとに契約が必要という認識が不足していた。今後は、町長車と議長車のみ契約を継続し、他の車両はアンテナを取り外して対応する。



いがらし ゆういち 五十嵐 優一 議員

生活排水処理基本計画への対応は

五十嵐議員 不明水対策は。

環境整備課長 明安は、令和元々4年度に力メラ調査と修繕を実施。

五十嵐議員 明安で実施した大規模改修の効果は。

環境整備課長 令和6年度の年間流入水量は、平成30年度と比べ半分以上(42・61%)に減少した。

農業集落排水施設と公共下水道の統合は

五十嵐議員 コスト比較は。

環境整備課長 有屋施設を貯留槽へ改築、マンホールポンプと1・1kmの管路設備が約4億7900万円。単独更新は、3億4660万円と抑

問

生活排水処理施設整備は

答

適正な時期に詳細な検討

えられる。

五十嵐議員 公共・有屋・明安処理場の平均流入量は、公共下水道能力の70%。明安・有屋の接続は、豪雨時の不明水対策等により可能。

統合した場合、単独更新との差額1億3240万円に対し、有屋の維持管理費1億3960万円(12年間)が有利となる。さらに、統合の概算工費は、自然流下の活用などで減額できる。

有屋の大規模改修と、降雨時の不明水対策で、明安地区も含む統合を検討していただきたい。



ジビエ加工施設整備は可能か

※次ページに町民からの意見を掲載。

産業厚生常任委員会

問 今年のクマ駆除数は過去最多。今後の個体数の増加も見込まれ、販売加工場の整備も考えられるのでは。

答 猟友会との意見交換会でジビエ料理の食品加工施設の整備が提案されているが、今は駆除に全力投球している状況。検討には時間を要する。



問 話題性が高い「ビーナッツ」の生産者や収益状況、流通への方向性は。

答 今年で生産8年目であるが、消費に対して生産が追い付いていない。収益性が低い、引き続き生産から流通までPRする。

神室一帯の指定管理はライズ・大平ホテル共同事業体に  
～ 街角交流施設等は株式会社 金山の未来 が管理 ～

12月議会臨時会 町長提出議案

議案番号	議案名及び議案の主な内容
議第101号	令和7年度金山町一般会計補正予算(第9号) 補正予算額 8,944万8千円 補正後予算額 55億3,584万8千円 ・中小企業等物価高騰対策支援事業費補助金 2,200万円、資産活性化基金積立金 5,000万円 など
議第102号	令和7年度金山町国民健康保険特別会計補正予算(第4号) 補正予算額 0円 補正後予算額 2億3,762万9千円 ・会計年度任用職員期末・勤勉手当 4万1千円、消耗品費 △4万1千円
議第103号	令和7年度金山町介護保険特別会計補正予算(第4号) 補正予算額 0円 補正後予算額 8億1,573万5千円 ・会計年度任用職員社会保険料 20万円、介護保険給付基金積立金 △20万円
議第104号	令和7年度金山町水道事業会計補正予算(第3号) (収益的収支)補正予算額 0円 補正後予算額 2億1,123万1千円 ・会計年度任用職員期末・勤勉手当 1万4千円、水道使用料 △1万4千円
議第105号	金山町公の施設の指定管理者の指定について ・グリーンバレー神室一帯施設群の指定管理候補者をライズ・大平ホテル共同事業体 に、街角交流施設等の指定管理候補者を株式会社 金山の未来 に指定するもの

議案への質疑応答要旨

【議第101号 令和7年度 金山町一般会計補正予算(第9号)】

**沼澤道也議員** 物価高騰対応重点地方創生臨時交付金の使途について、事務的な判断が多すぎるのではないか。

**町長** 交付金の使途については、どのような事業がふさわしいか各課から提案を受け、具現化できるものを予算化した。さらに有効な手立てを打ち出すことは当然必要。より大きい効果が見込める支援策、事業を模索していく。

**中村忠行議員** 除雪機購入費補助金の要件と小規模農業機械補助金の関係は。

**環境整備課長** 補助率が4分の1で、10万円を上限としており、購入先の制限はない。小規模農業機械補助金との重複交付はない。

**中村議員** 議会報告会で金山小学校前の道路について、道幅が狭く危険との意見があったが、対応は。

**回答** 食肉として流通させるには、食肉衛生の保健所関係の許可のハードルが高く難しい状況。加工場は金山で作ると相当な費用がかかるので、他町村と一緒に設置できないか、担当課に投げかけました。  
※P9に関連質問

**意見** 議会では紙ベースの資料を廃止するためにタブレットを活用したいということ、質疑の内容をインターネット配信したいという方針があったと思いますがどうなっていますか。

**回答** 令和6年度からタブレットを導入し、本会議や委員会、町の研修会など全てタブレットで議会運営をしています。多くの資料が提出されますが、全てタブレットを通して見ることができません。また、配布物、連絡はグループウェアを活用しており、議員への連絡は事務局からタブレットやスマホに入り、郵送というものがありません。今後、議会中継の協議を進めてまいります。

**環境整備課長** 状況については認識している。これまで以上にこまめに排雪を行うこととしている。

【議第105号 金山町公の施設の指定管理者の指定について】

**星川智子議員** 来年度から5年間の指定管理者の経営をどのように見ていくのか。

**産業課長** 5年間は指定管理者の事業計画に沿って進んでいくが、インバウンド客の長期滞在も視野に事業展開を期待している。

**町長** 指定管理の状況をつぶさに確認し、展開を予想しながら次の5年を見据えていく。

**須藤典夫議員** 神室振興公社の解散の説明と社長としての責任は。

**町長** 町とJRとの出資者間で協議し、取締役会で決議した。次の指定管理者にスムーズに移行させることも一つの責任の取り方と考えており、社長個人に責任が及ぶものではないと考えている。



12/9 有屋地域  
(宮地区公民館)

**意見** 地区では消防施設の管理運営や備品整備で大きな負担が生じています。消防は町全体の安全に関わるものですが、備品などは全額町で負担いただくなど、もう一歩踏み込んだ補助制度の見直しを議会でも議論していただきたい。

**回答** その場所については以前から要望があり、課題として認識しております。水路への排雪ができないという制約があり、解決が難しい状況でした。具体的な方法を関係各所と協議し、安全な通路を確保できるように努めてまいります。  
※P11に関連質問

町民の意見を町政に反映させるため、12月8日から12日までの5日間、町内5会場で議会報告会を開催した。

**意見** 小学校前の通学路の除雪について、道幅が狭く、子どもたちが歩く横を車がすれ違う際に危険を感じます。子どもたちの安全確保のため、もう少し幅広く除雪するなどの対策を検討していただきたい。

**回答** 消防団員の確保が困難になる中、装備品の負担軽減は重要な課題です。防災という大きな枠組みの中で、町の担当部署に皆様の意見を伝え、改善に向けて働きかけてまいります。

**意見** 少子化が進む中、小中学校(義務教育学校)の設置について、町の検討状況はいかがでしょうか。子どもたちが学びやすい環境整備は、少子化対策としても重要だと思います。

**回答** この件は一般質問でも取り上げました。町としても、義務教育学校に非常に関心をもち、来年度にも運営委員会を設置して具体的な検討を開始する予定です。町の事情や課題を踏まえながら、将来の学校教育のあり方について議論を進めていくこととなります。  
※P7に関連質問

**意見** 駆除された熊を埋設して処分していると聞いていますが、熊の肉の加工というのはいけませんか。



12/10 西郷地域  
(朴山地区公民館)



12/11 東郷地域  
(ビーナッツ工房)



12/12 中田地域  
(上中田地区公民館)



VOICES 町民の声

選択肢のある子育て環境を金山に



町の宝を守る会

いまい はるか  
今井 晴香 さん

私は金山町に移住し、子育てを始めてから7年目になります。

初めて町を散策した日のことを、今でもはっきりと覚えています。「なんて素敵なお町並みなんだろう」「ここで子育てができるなんて嬉しい」とこれから始まる暮らしに大きな期待を抱いていました。

しかし、現実には決して簡単なものではありませんでした。知らない土地での子育ては、想像以上に心細く、社会から切り離されたような、言葉にできない孤独との闘いでもありました。

子どもが一歳になる頃、子育て支援センターの存在を知り、先生から声をかけていただいて、初めて足を運びました。そこで出会った先生方や先輩ママたちの温かさ、そして寄り添ってくれる優しさに触れ、「一人で頑張らなくてもいいんだ」と心がふっと軽くなったのを覚えています。

その後も先生方に支えられながら、二人目、三人目を

出産し、現在も子育てに奮闘しています。当時の先生方には、今も心から感謝しています。

金山町は、町並みだけでなく、人の温かさにあふれた場所です。それほど素晴らしい町であるにもかかわらず、なぜ子供が減っていくのでしょうか。私は、町並みや人の優しさだけでは、子育てを続けていくことが難しい時代になっているからだと感じています。

今、金山町から子どもが減っていく現状の中で、町民みんなで子どもたちを見守り、育てていく意識が、これまで以上に必要ではないでしょうか。

また、他市町村と比べたとき、子どもたちの体験の格差は大きな課題だと感じています。親として、この先の厳しい時代を生き抜くために、できるだけ多くの経験をさせ、選択肢を広げてあげたい。それは多くの親に共通する願いだと思います。

しかし現実には、金山町だけで子どもたちの選択肢を十分に広げることが、決して簡単ではありません。だからこそ金山町には、これまで大切にしてきた取り組みを継続しながらも、新しい風を取り入れていくことが必要だと感じています。誰かが動いてくれるのを待っている間にも、子どもたちは確実に成長していきます。

私自身も一人の母として、子どもに胸を張れる大人でありたい。そして、子どもたちが「金山が大好き」「また帰ってきたい」「自分の子どもにも見せたい」と思える町であり続けるよう、考え、行動し続けていきたいと思っています。

令和6年11月11日に、議会と「町の宝を守る会」の意見交換会を実施しました。

3月定例議会は3月6日(金)~13日(金)の予定です  
町民の皆様のお傍聴をお待ちしています

- ◎発行責任者  
議会 議長 栗田 保則
- ◎議会広報常任委員会  
委員 長 星川 智子  
副委員 長 中村 忠行  
委員 大場 洋介  
五十嵐 優一  
宮林 聡志

発行◎山形県最上郡金山町議会  
〒999-5402  
山形県最上郡金山町大字  
金山324番地1  
TEL.0233-52-2111(内線300)  
FAX.0233-52-2004

本号の写真

12/22に第7回目となる新庄南  
高校金山校生徒による模擬議  
会が行われた。議員6名による  
一般質問は、生徒自らが考え、  
町の課題を的確に捉えていた。

主権者教育の重要性が叫ば  
れる中、金山校の取り組みは  
総務省のYouTubeチャンネル  
でも取り上げられている。

総務省  
動画チャンネル▶  
@soumuchannel



訂正とお詫び  
議会だより144号(11/7発行)

前号(144号)P3最上段「約178万円」とあるのは  
「約1781万円」の誤りです。お詫びして訂正いたします。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた  
見やすいデザインの文字を採用しています。